

資産運用レポート：成長株投資の理想と現実

1. はじめに

株式投資の醍醐味は、成長株への長期投資にあります。下のチャートは、エン・ジャパンですが、この銘柄は 2003～2005 年の 3 年間で株価が 20 倍になりました。

実のところ、私もこの銘柄を持っていました。それで、どれだけ取れたかといえば、たったの 2 倍です。

2003 年当時は、エン・ジャパンがポートフォリオの筆頭銘柄でした。成長期待で長期保有するつもりが、株価の激しい値動きに耐えられず、売り注文を出してしまったのです。

小型成長株は、ボラティリティが高いため、持ち続けることに苦痛を伴います（株価が下がっても何とも思わない強心臓の持ち主を除いて）。特に、地合いの悪いときはなおさらです。

後からチャートを振り返れば 10 倍株（テンバーガー）でも、現実的には損切りで終わることが少なくありません。

今回の資産運用レポートでは、そんな成長株投資について取り上げてみました。

★エン・ジャパン 株価チャート（2003～2006 年、週足）

